

会議・協議等記録簿

議 題	第 3 回佐久市生物多様性専門家会議		
日 時	令和5年9月28日（木） 10：00～正午	場 所	オンライン会議
出席者	委 員：出席6名、欠席1名 事 務 局：環境政策課長、耕地林務課長、環境保全係長、環境保全係、 コーディネーター		
会 議 ・ 協 議 等 事 項			
1 開会 2 会議事項 (1) 調査実験業務の中間報告について 植生調査（高木、中低木、草本、ササ、実生調査）と、植物の動物の痕跡、動物調査 についての中間報告を行い、下層植生が衰退していることを伝え、承認を得た。 (2) 調査実験業務の中間報告の考察 ア 下層植生衰退の原因について <ul style="list-style-type: none"> ・植物への影響は、ほぼニホンジカのもものと推定されることを伝え、専門家から承認を得た ・指標として「長野県第二種特定鳥獣管理計画（第5期ニホンジカ管理）」の資料の中の森林下層植生の衰退度調査区分6段階の中の3から4にあたると推定されることを伝え、専門家から承認を得た。 イ 下層植生回復に向けての対策について (3) 調査実験業務の今後の進め方について <ul style="list-style-type: none"> ・柵内と柵外で植物の生育に差が生じていることから、継続して柵の設置の提案があった。 ・植生回復柵を建てるにあたり、優先順位（緊急度）を付けて設置場所を決めるよう提案があった。 ・長野県環境保全研究所からツキヌキソウ（環境省、長野県 絶滅危惧Ⅱ類、長野県 希少種指定）の保護の要請があった。 ・シカの出入りや採食圧を確認するためにセンサーカメラ10台の静止画撮影を動画撮影に変更する提案があった。 ・シカの出入りや採食圧を確認するためにセンサーカメラの増設の提案があった。 (4) 防災科学技術研究所の実験の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> ・調査地4でのタイムラプスカメラの設置の報告があった。 ・調査地4でのオシダの状況（根が露出している）から、斜面から水が出ているのかもしれないという仮定の説明があった。 (5) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、令和6年度長野県は、山腹崩壊のシカの踏み荒らしと土砂の流出の関係について調査、実験を始める予定であると報告があった。 			

会議・協議等記録簿

- ・委員から、望月地区において冬季ドローンを使用しての巻き狩りの予定があると報告があった。
- ・調査データの生データの保管が必要と助言があった。

3 閉会